

令和4年度 第3回川崎市社会教育委員会議多摩市民館専門部会次第

日 時 令和4年12月16日(金)

午前10時～

会 場 多摩区役所 第1001会議室

1 開 会

2 部会長挨拶

3 館長挨拶

4 令和4年度第2回会議録について(確認) 資料1

5 報告事項

(1) 令和4年度施設の維持管理運営について 資料2

(2) 令和4年度多摩市民館社会教育振興事業について 資料3

6 議 題

今期のテーマについて 資料4

7 その他

第4回専門部会日程について

令和5年2月26日(日) 多摩区役所11階 1104会議室

企画提案会 午後1時30分～(予定)

専門部会 午後2時30分～

8 閉 会

令和4年度 第2回川崎市社会教育委員会多摩市民館専門部会摘録

- ・日 時 令和4年9月12日（金）午前10時～12時
- ・場 所 多摩市民館 第6会議室
- ・出席委員 小澤（章）委員、米山委員、齊藤委員、吉田委員（部会長）、三品委員、高梨委員（副部会長）、小園委員
- ・事務局 柏原館長、麻賀課長補佐、篠原係長、
- ・傍聴者 なし

1 開 会 （麻賀課長補佐）

2 部会長あいさつ（吉田部会長）

3 館長あいさつ（柏原館長）

4 令和4年度第1回会議録について（麻賀課長補佐）

※資料1 特に質疑なし。承認。

5 報告事項

（1）令和4年度施設の維持管理運営について

○麻賀課長補佐より資料2等に基づき説明

（齊藤委員）

女子トイレの壁に貼られているシールに要望が書かれている。対応した方がいいのではないかと。

（事務局：麻賀課長補佐）

今年度トイレの全面改修の中で対応していく。今日も工事音でご迷惑をかけている。

（2）令和4年度多摩市民館社会教育振興事業計画について

○篠原係長より資料3等に基づき説明

（齊藤委員）

多摩区地域教育会議が行う「教育を語るつどい」のチラシを配らせていただいた。地域の子育てに興味のある方を対象に井戸端会議方式でざっくばらんに話し合う形式で行う。

（小園委員）

「動画制作初めて講座」はどんな方々が参加されたのか。

（事務局：篠原係長）

40代から70代までの様々な方が参加されていた。趣味で蜂などの成長記録を撮りたいという方やユーチューブを意識されている方もいた。

6 議 題

(1) 今期のテーマについて

○篠原係長より資料4等に基づき説明

(吉田部会長)

5つの地区社協でも連携がとれているわけではなく、それぞれで活動している。多摩区は広いので地域ごと異なっている。

(齊藤委員)

子どもを地域で育てるのを大きな括りでやるのは難しく、それぞれの地域で行うことになる。新たに組織を立ち上げるのではなく、既存の町会や子供会を行政がうまく連携、活用する方法、やり方を見つけた方がいい。

(小園委員)

PTAの運営委員にテーマについて聞いたところ、図書館のおすすめ本の紹介や各団体の社会教育的学びを教えてほしいなどが出た。利用状況は月1回程度か、ほとんど使わないと頻度に差があった。そもそも「社会教育は何で必要なのか」という感じで、やりたくなる仕組み作りが必要と感じた。参加したいイベントでは「街がよくわかる、シビックプライドを醸成できるイベント」なら参加したいとの意見があった。シビックプライドが多摩区の社会教育を発展させていくマインドと考え、テーマとしては「シビックプライドを育める市民活動、地域資源の発見と情報発信」と考えた。講座が開かれても情報が届いていないと感じている。

(吉田部会長)

一般の方に社会教育の意味がどのぐらい理解されているのか。市民館だよりも回覧されるけど読んでいるのだろうか。

(事務局：篠原係長)

4月に配属になり、社会教育とは何かというところからスタートした。色々な研修も受けてきたが、社会教育と言ってもハードルが高いが、学校以外のすべての学べる機会が社会教育で、すごく大事だと感じている。生涯学習とも言っているが「学べる場」だと思ってほしいが、講座に参加してみないと分からない。アンケートでも2回、3回と受講し、おもしろいから違う講座を受けてみたいというところがあると感じる。1回のイベントでもいいから社会教育に触れてみる機会を得て、それぞれの人生が豊かになることではないかと感じている。

(米山委員)

教育というと難しいが、人と人の結びつきが大切だと思う。地域のイベントで一つのことを成し遂げる中で教わる、教えるなどができてくる。先月盆踊りをやったが、地元を大切に横のつながりを大事にしていくことが教育ではないか。市民館に出向いて何かをやるのが大切ではないか。会議室等の利用率もう少し上げられたらと思う。

(吉田部会長)

地域で活動の場を作ってあげるもの大切で、そこで情報を得て市民館に足を運ぶ人もいる。

(高梨副部会長)

社会教育は地域づくり、人づくりといわれ、そのきっかけが大事。生涯学習は学校教育、家庭教育、社会教育を包括する理念で、その生涯学習社会をより推進していくために社会教育事業がある。成人だ

けでなく幅広くターゲットを拡げて活動していけるものなので、広すぎてあいまいに見える。学校教育のように学習指導要領が決まっていなくてあいまいに感じられるが、そのあいまいさが魅力だと思う。市民館に行くと子どもでも大人でも人と関わって何かを知ったり、学んだりできて何か楽しい、また行ってみようかなと思う。そのサイクルを繰り返していくことが社会教育だと思う。「社会教育とは何か」を学習者が初めから知っている必要はない。学習の活動を重ねていく中で社会教育と何かを理解していくのかなと思う。運営していくほうは社会教育とは何かということは大切だが、学習する人にとっては振り返ってみたら、それが社会教育だった、道ができていたという感じのもの、あまり堅苦しく考えなくてもいい。人づくり、繋がりづくりというのは現代的課題で、色々な考え方の人がいるし、引きこもりや地域で孤立している人もいる中でそういう方にも間口が広がっているのが社会教育だと思う。多摩区の中でどのような現代的課題に取り組んでいくかは検討されることかと思うが、街をよく知るといえるものか、まちづくりには色々なやり方がある。

(三品委員)

社会教育は枠にとらわれない教育だと思うが、チラシが来ても見ない、興味がなければ見ない。参加させるのであれば興味だけでなく強制させる面が必要ではないか。参加した方がいいと勧められて参加するとか。また、算数の分からない小学生に徹底的に教えてることに対応できる制度を作してほしい。国力、産業、学力低下等の問題も盛んに議論されていて政府も数理教育を徹底しようとしている。それに絡めてはどうか。川崎でも技術を表に出して取り組んでいる。算数に対して小学校で弱みを作り、中学校で嫌になり、高校では避けてしまう。少なくとも多摩区だけでも算数がわからなくなならないようにクラスを作してほしい。やり方はいろいろあるが、友達同士が教え合って、年齢が上の子が下の子に教えるとか、自由に話し合える仕組みにして、分からないところは徹底的になくしていく。またもっと高度なことをやりたいということがあれば教えてあげればいい。特別に塾とかに行かなくて遊びながらできない子と一緒にやるとか、そういう形で学び合っていければと思う。算数は面白いと思うクラスを作ればと思う。

(事務局：篠原係長)

市民館の社会教育事業に「寺子屋」事業は、コーディネーターを養成し、実際に寺子屋をやっている方々の情報交換を通じてサポートするもので、講座をやることでコーディネーターが寺子屋先生をよりブラッシュアップしていくことが社会教育だと思う。学校教育ではなく、学校教育を支える方、人づくりをするのが社会教育の領域だと思う。

(三品委員)

前回の話で料理教室をやってほしいというのがあったので、算数教室は集まって勉強ができるという観点で考えた。青少年教育事業か、PTA 家庭教育学級に相当し、健康教室の提案と同じと考えた。

(齊藤委員)

これまでも専門部会に参加しているが、先ほどの話は事業としてやりたいことの一つで、事業を立ち上げて市民自主学級とかでやられるということだと思う。専門部会で話し合うことはそれも含め、全体的に市民館のあり方とか、市民館事業をどのように周知していこうかというところではないかと思う。

(事務局：篠原係長)

具体的に講座でこういうことをやりたいというのは、随時募集をしている。今までの報告を見ると「あり方」、今後講座を作るに当たっての「考え方」などを委員に研究して頂いたと思う。講座をどうしたかというところは企画提案だけでなく、随時別途相談している。

(三品委員)

ここではこういう可能性があるという議論はしないということか。

(事務局：篠原係長)

こういう講座があった方がいいというのは議論はしてもいいですが、これまではそのためにどのようにアプローチしたらよいかを考えて頂いてきたと思う。

(事務局：柏原館長)

いくつかのキーワードがでていますが、自分にとって必要かもしれないと思う「きっかけ作り」や、学力だけでなく子どもたちの人間力や生活力、自分で必要なものを掴み取っていく力などをどのように育み、地域の中で見守るか、ということだと近くなるのではないか。学力そのものにスポットを当ててしまうと学校教育に焦点がいきまいてしまいストレートすぎる。子どもと市民館を考える場合に題材としてはあるかと思うが、個々の学力、算数を取り上げるかは別の次元で、社会教育では地域全体の力、つながる力ということになるのではないか

(米山委員)

市民館をいかに有効に市民に活用していただくか、ということではないのか。

(高梨副部長)

今の話からすると多摩区の社会教育ではこれまで子どもに対してどのようなことがされてきて、どのように評価されているのかを調査、研究し、その上で市民館でこういう事業をやったらどうかとか、こんな方向性で社会教育を展開していったらどうかと提言していく報告ができる。

市民館の企画提案ができる場というのがあまり伝わっていない。

(三品委員)

具体的なことが無ければ何の議論もできないかなと思う。抽象的でなく、こんなのがあったらいいなというのを議論できたらと思っている。

(事務局：篠原係長)

市民館に企画などの相談ができる事が知られていない、企画提案があることもよく知られていない、ということが何よりも課題かなと思う。市民自主企画事業も他の館、隣の麻生市民館は多くあるが、多摩区はここ数年少ない。2月の専門部会で審査をしていただくが、やりたいという声を拾う場があるのに無いと思われているのが問題で、活用して団体の活動を充実させていく機会を減らしている、人づくり、地域づくりを阻害していると思った。

(高梨副部長)

麻生区が多いなら調査して、多摩区はどのような地域なのか、市民館はどうしていくのかを考える。

(齊藤委員)

市民館だよりもこれだけ大きなスペースを取って、目に入らないわけがない。そもそも開いていないのでは手の打ちようがない。つながり作りについては、去年市民館から「こんな人はいないか」と頼ま

れて「たまたま子育てまつり」や「ジオラマづくり」で知り合いを紹介をした。地域で声を掛けると何人か手を上げてくれて協力してもらえた。つながりのつながりを作っていく人を育てていくのが大事。麻生区は地区が小さくて PTA とかのつながりが強く協力的で、人脈でつながっている。ここ数年、広報の議論をしているが、結局は人のつながりが大切になってくるというのが実感だ。つながりのある方から誘われると行こうかと思うが、広報だけでは難しい。

(米山委員)

たとえば市民館だよりは回覧ではなく町内会掲示板にしてはどうか。そのほうが目に付くかもしれない。

(小澤(章)委員)

9月にサークル連絡会で交流会を開いたが多くの参加は難しかったが、誘う時には「学び」というと難しいので人との繋がりによる楽しさ、嬉しさを伝えている。市民館の話をしていると年配の方からはコミュニティバスを作ったらとか、自然災害について知りたいとかの意見を頂いた。

(吉田部会長)

高齢者には市民館は敷居が高い。いこいの家なら65才以上なので市民館の事業をやってもらえれば、管理人を通じて声掛けもできる。市民館という名前自体が敷居が高いと思う。

(事務局：柏原館長)

委員の皆さんは地域とつながっているが、それが市民館とつながっていないと感じる。声を掛けないと繋がらないのが弱みなのか、こちらからできるアプローチはないのかなと思う。

地区ごとに具体的なことはあるのか。

(齊藤委員)

実際、自分の住んでいるところ以外の地域性との比較というのは難しいと思う。子ども会や PTA のつながりで寺子屋、多摩区では地域教育会議を、地域で特別な活動をやっているわけではない。地域の特色といわれてしまうと難しい。

(事務局：柏原館長)

シビックプライドというと多摩区全体の大きなところで考えられるのか。もう少し小さな単位で考えなければならないのかと思った。

(小園委員)

まずは地域の特色を洗い出すのですかね。

(事務局：柏原館長)

「つながり」の強さ、特徴を把握するのではないか。違いがあるのならターゲットとか、仕掛け方を地域ごとに考えなきゃいけないし、全地域いっぺんには難しいので、この地域だったらどこにアプローチしていくのかということになる。

(齊藤委員)

小学校の校長先生は川崎じゅうを廻っているので地域の特性を知っているのではないかと。校長は町内会とも子ども会ともつながりがあり、地域の方々ともつながりがある。いろいろな先生に地域の特性、カラーを聞いてみるのもいいのではないかと。子ども会も町会とつながっているところと全く繋がっていないところもある。

(米山委員)

6校の地域教育会議に参加している。各地区でタイアップしてイベントをやっている。

(高梨副部長)

地区社協と市民館の関係はどうか。

(事務局：柏原館長)

多摩区社協とは事業を一緒にやったりしている。

(吉田部長)

地区社協はどこも連携は取れていない。

(事務局：柏原館長)

資料4の5地区は概ね地区社協の区域割が地域ケアなどでも使われていることから提示したもので、市民館と地区社協との連携ということではなく、既存の地図を活用した。

(高梨副部長)

これを参考にしながら多摩区を細分化してそれぞれの特徴を調査して、多摩区全体をとらえなおしていくのも研究ではないか。

(事務局：柏原館長)

事業を展開する上でそういうことも考慮しなければならないのかと思い提示した。いこいの家なども地図に落としとしていくと見えてくるかと思う。今ある「つながり」が市民館とつながっていないということからその認知度を上げて、もっと利用してほしいと考えたときにどのようにアプローチしていくかを考えたときに、どのへんをターゲットにしていくかを視野に入れていかなければと思った。

(高梨副部長)

前期、前々期に市民館が出向いていった方がいいとのことだったが、取り組みとしてはどうか。

(事務局：柏原館長)

今現在は、庁舎の改修工事で必要に迫られて生田出張所とKFJ多摩スカイキッズに場所を借りて事業をやって現地に出向く足がかりになっている。市民館で来るのを待つのではないというのが始まりつつある。

(米山委員)

将来的に生田出張所を使っていく予定はあるのか。

(事務局：柏原館長)

生田出張所は普段から使える施設にはなっている。老人いこいの家やこども文化センターなどは協力関係の中でやっていけるところがあるかもしれない。

(小澤(章)委員)

市民館は来年の2月まで使えないが、近くのどこかの施設が使えるのか教えてもらえると助かる。

(事務局：柏原館長)

利用内容と施設のマッチングが必要になってくるので窓口で相談させていただいている。テーマについては事務局の方での準備が必要かと思う。

(事務局：篠原係長)

皆さんから意見を頂いたのもうちょっと整理をして分かりやすい資料を作って提示し、今期のテーマを決めていただきたいと思います。

(三品委員)

資料を作る際に地区社協などがどこにあるか等もう少し詳しい資料をお願いしたい。

(事務局：柏原館長)

検討に必要な情報は次回までに用意をしたい。

(吉田部会長)

今回も色々意見を頂いたので、事務局にまとめてもらい次回議論をすすめていきたいのでよろしく願います。

7 その他

第3回・・・12月16日（金）10時～

第4回・・・2月26日（日）13時～

8 閉会（高梨副部会長）

令和4年度施設の維持管理運営について

1 施設維持管理（軽易工事）

[実施報告] バリアフリー調査に基づく改修工事

大ホール内ホワイエ等点状ブロック敷設その他工事（11月29日完了）

[施工予定]

大ホール舞台機構引綱ロープ修繕工事（2月18日施工予定）

2 市民館トイレ改修工事（R4. 7. 29～R5. 3. 15）

工事全般は予定どおり順調に進んでおり、5階は完了し利用可能、4階は予定より早く進み、検査終了とともに今月19日（月）から使用可能、その後20日以降、2階の施工に入る予定。3月半ば頃までにすべての階が利用可能となる予定

3 多摩区総合庁舎外壁改修工事（R4. 7. 27～R6. 1. 31）

12月から2月まで足場設置、現在、音出し作業が継続中、今後、本格的にタイル工事や塗装工事となるが、市民館利用者に配慮しながら作業を実施。市民館屋外階段についても手摺設置等のバリアフリー改修工事を施工。

I 社会参加・共生推進学習事業

1 識字学習活動～日本語学級～

日常生活に必要な日本語の会話・読み書きの基礎学習の支援をし、学習者とボランティアが学び合う関係づくりをととして、多文化共生社会の実現をめざす。

(1)水曜・午前コース 令和4年4/8～令和5年3/15(年間継続)(10/5から生田出張所で開催中)

学習支援グループ:ボランティアグループ「多摩にほんごの会」

《保育》保育ボランティアグループ「多摩保育グループ」

(2)金曜・夜間コース 令和4年4/1～令和4年3/17(年間継続)

学習支援グループ:ボランティアグループ「たま語」

2 識字ボランティア研修

識字学習活動に参画するボランティアの育成と資質の向上を図る。

(1)日本語ボランティア研修(入門研修)

地域で活動する日本語ボランティアの育成を図る。

(2)日本語ボランティア研修(ブラッシュアップ研修)

昼・夜両クラスの日本語ボランティアのスキルアップを図る。

5/28(土)～6/29(水) 全4回

3 障がい者社会参加学習活動 (青年教室)

地域での体験活動や交流をととして障がいのある人の社会参加を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき共に生きる地域社会の実現をめざす。

5/28(土)～3/18(土) 月1回土曜 【年間継続】

参加登録者 29人(参加者を2グループに分けて隔月で活動・5月と9月、3月は午前午後入れ替え制で実施)・ボランティア 18人

5月:オリエンテーション・自己紹介 6月:アート体験・お面作成① 7月:アート体験・お面作成② 9月:全体会 10月:バスハイク① 11月:バスハイク② 12月:季節の飾りを作ろう 1月:未定 2月:未定 3月:1年の振り返り

II 市民自治基礎学習事業

1 平和・人権・男女平等推進学習

憲法・教育基本法の理念に基づき、世界の平和及び人権の尊重、性による差別や人権に関する問題解決に向けた学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造や男女共同参画社会の形成を目指す。

8月企画運営委員会が立ち上がり、企画検討

「考えよう 世界の平和と一人ひとりの幸せ」

12/10～2/25 全8回 生田出張所大会議室、明治大学登戸研究所平和資料館、市平和館

2 青少年教室事業

小学生・中学生・高校生等を対象として、青少年期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。

「鉄道の歴史から知る多摩区の魅力発見講座」

中学生～20代を対象に、南武線や小田急線の歴史について、DVD鑑賞、講義、現地見学などで学ぶ。また、自分のお気に入りの風景のジオラマを作製し、最後に参加者のジオラマの中で鉄道模型を走らせる運転会を開催。

7/10～8/7 全5回 毎週日曜日(7/31は除く)、第4回は8/6 土曜日 多摩市民館ほか

3 シニアの社会参加支援事業

地域活動への参加や地域との関わり方等についての啓発事業として実施し、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援する。

「とことん『幸』齡者!高齡になるほど幸せに!!」

企画運営委員会「チームとことん!」(公募委員6人)と協働して実施。新規企画運営委員1人『幸』齡者とは、「『地域で輝いている』『地域に必要とされている』生きがいを持って毎日の生活を送り、幸せに年を重ねる」人のこと。『幸』齡者になるきっかけがつかめる講座。

9/30～11/4 10:00～12:00 全5回 毎週金曜日(10/14は除く) 定員25人

会場:生田出張所大会議室、生田緑地ばら苑

4 高齢者セミナー

高齢期の課題解決に向けた学習機会を提供する。また、学習を通じた、生きがいづくりや健康づくりを促進するとともに、幸福な高齢期をおくるための仲間作りの場の提供と支援をする。

実施時期 2月11日～3月23日 全5回 各回午後の2時間程度 定員20人

会場:多摩区役所および多摩市民館

5 家庭・地域教育学級

子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し親として市民としての学びを支援する。

I期「子どもも大変!?小学生に現れる心の変化とリフレッシュ」 6/9(木)～7/9(土)

10:00～12:00 全5回 定員20人 保育つき 会場:多摩市民館 第1・2学習室、体育室

II期「イヤイヤ期!子育て暮らし応援講座」 8/25(木)～9/29(木)

10:00～12:00 全5回 定員15人 保育つき 会場:多摩市民館 第1・2学習室

6 市民館保育活動

親等の学習活動への参加を支援し、乳幼児の社会的成長を支援するために、主催事業に適宜併設する形で保育活動を実施する。

【識字学習活動(昼)、家庭・地域学級I・II】

(識字学習活動(昼)の保育は休止中)

保育グループ:多摩保育グループ

7 PTA家庭教育学級

PTAが実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行うことにより、子どもの健全な成長に向けた学校・家庭・地域の連携による学習活動の振興を図る。(各単位PTAの企画による)

説明会 4/26(火)10:00～12:00 (小・中学校)

報告会 令和5年3月 開催(小・中学校) 予定

8 子育て支援啓発事業

地域の子育てに関し、情報提供・フリースペースを提供し支援イベントを行う。

企画運営:子育てを考える会「グループ」

「子育てひろば」4～7月第2・第4火曜 9月、3月第2火曜 10:00～12:00 多摩市民館
10～2月 第4金曜 10:00～12:00 KFJ多摩すかいきつず【年間継続(8月を除く)】

対象:0歳～就学前の子どもと親

「外国人の子育てひろば」4～7月、3月 第2金曜 10:00～12:00 多摩市民館

9～2月 第3金曜 10:00～12:00 KFJ多摩すかいきつず【年間継続(8月を除く)】

対象:外国人家庭親子

Ⅲ 市民学習・市民活動活性化学習事業

1 市民自主学級

区ごとに、企画提案会を開いた後の選考委員会の選考結果に基づき、市民グループが市民館との協働により地域の問題等に関する継続的な学習の場を設ける。

	受託グループ名	事業内容
学級1	グループ わっか	<子育て・地域活動> 「たま親子学級～子育て＝親育ち～」 子どもが保育園に通うまで0～1歳の1年間の子育てを、笑顔で楽しく過ごせるように学ぶ。親同士も知り合いになって、子育てが気楽になるような講座を行う。 8/30(火)、9/6(火)、9/13(火)、9/23(金祝)、9/27(火) 10:00～12:00 全5回 0歳から1歳半の子を持つ親子10組(親子同室参加) 9/27は公開講座で10組、別に募集

2 市民自主企画事業

区ごとに、企画提案会を開いた後の選考委員会の選考結果に基づき、市民グループが市民館との協働により地域特性に応じた学習・文化・芸術活動の場を設ける。

	受託グループ名	事業内容
事業1	ふらっとカフェを広める会	<まちづくり> コミュニティカフェ運営講座&ふらっとカフェ運営 “そこへ行けば誰かに会える、話せる”誰もがふらっと立ち寄れる地域の居場所を提供するため、感染症対策やコミュニティカフェの基本的な知識を学ぶ。 講座:「今だから知っておきたい!コミュニティカフェ運営講座」 7/5、7/12、(7/26は延期→11/1 生田出張所大会議室) 火曜日

		13:30～15:30 全3回程度 定員20人 ふらっとカフェ:5/10、5/24、6/7、6/21、(8/2、9/6 は中止) 火曜日 13:30～15:00 多摩市民館第1会議室 10月からは、毎月第1火曜日(1月は第2火曜日) 生田出張所大会議室
--	--	---

3 PTA活動研修 ～よりよいPTA活動のために

- (1) 学年学級委員会(小・中学校)1回
- (2) 校外委員会(小・中学校) 1回
- (3) 広報委員会(小・中学校) 1回
- (4) 成人委員会(小・中学校) 1回
- (5) 役員研修会(小・中学校) 1回

【共催】多摩区PTA協議会

5/12(木)～6/16(木) 10:00～12:00

4 市民活動エンパワーメント研修

市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民が自ら考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように、市民全体の地域づくりを支援する。

「動画制作 初めて!講座」

6/7(火)～7/5(火) 10:00～12:00 全5回 定員20人

5 市民講師活用事業

様々な分野において豊富な経験や資格、技術等を持っている市民が、地域の生涯学習における身近な学習支援者「市民講師」として活躍できるよう育成・支援を行う。先輩市民の講演例を参考に自らのスキルを振り返りブラッシュアップするとともに、今後の活動計画を策定支援する。

2月25日～3月25日 土曜9:00～12:00 全4回 定員10人程度

会場: 多摩区役所および多摩市民館

6 生涯学習交流集会

いきいきとした多摩区の社会教育の展開に向け、市民と職員が率直な意見交換をし、市民主体の地域の生涯学習を創り出すことをめざす。

・市民自主学級・市民自主企画事業及び多摩市民館を中心に自主的な活動を行うグループの学習成果の報告とパネル展示等。今年度は地域ケア推進課の「地ケアフォーラム」と同時開催し、「地域の居場所探し! つながり探し!」を開催する。2/11(土・祝)13:30～16:30 多摩区役所11階会議室他。

内容: 第1部 基調講演(「地域の居場所」「地域とのつながり」が必要なワケ! ?)、

第2部 各団体の活動紹介、第3部 ブースに分かれて各団体の詳しい活動紹介、質問タイム

7 「地域の寺子屋事業」コーディネーター養成講座

地域の中で学校施設や地域の施設を活用しながら、社会教育的な事業を実施する人材や団体を養成する講座(多摩区、麻生区合同開催)

6/17～7/8 金曜日 10:00～12:00(第3回 6/26 10:00～11:30 東菅小学校寺子屋

第5回 6/29 13:30～14:30 菅小学校(寺子屋)全5回 多摩市民館ほかで開催

8 多摩区内寺子屋情報交換会

11/7 月曜日 10:00～12:00 開催。

9 学習情報提供・学習相談事業

市民の学習と活動を支援や様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し公開・提供。学習についての情報照会・相談を受け付け対応する。

「生涯学習相談コーナー」 運営:多摩生涯学習相談ボランティアの会

市民の学習と活動を支援するために、様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し、提供すると共に、生涯学習相談員により市民からの情報照会・相談を受け付け対応する。

【年間継続】 毎週火曜日午前(第3火曜日は午前・午後)

IV 市民と行政の協働・ネットワーク学習事業

1 課題別連携事業

(1)第21回多摩ふれあいまつり

6/19(日) 10:00～15:00

会場:多摩市民館他

「バリアフリー わたしとあなたとこの街と」をテーマに、多摩区で福祉活動をしているグループや福祉に関心のある人たちが、地域で行っている活動に関する情報を発信し、「バリアフリーのまちづくり」の理解と啓発をめざすまつり

主催:たまわかくさ(多摩区当事者・ボランティア連絡会)、多摩ふれあいまつり実行委員会

(2)たま学びのフェア 2023

多摩市民館で活動している団体等による学びの場を広げるイベント

3/11(土)、12(日) 10:00～16:00 会場:多摩市民館 【主催】たま学びのフェア実行委員会

(3)多摩区子育て支援会議

9/8(木)、2/2(木) 全2回 会場:多摩市民館、生田出張所

多摩区内の子育て関係機関、支援団体、市民グループによる会議

2 行政区・中学校区地域教育会議推進事業

川崎市委託事業

令和4年度活動日程

・総会:6/2(木) 議長:高森 康広

【多摩区地域教育会議・子ども会議】

・11/3(木・祝) 会場:中野島小学校

【多摩区地域教育会議・教育を語るつどい】

・11/26(土) 9:30～12:30 会場:多摩区総合庁舎11階会議室

【多摩区地域教育会議・広報紙「ちえの輪」発行】

年3回

3 文化団体連携推進事業

- (1)春の文化祭 いけばな展 4月、バレエコンサート 4/24(日) 多摩区文化協会
- (2)多摩区文化祭 芸能の部 10/22(土)・23(日) 多摩区文化協会
- (3)文化講演会
- (4)文化サロン
- (5)文化教室

4 地域課題対応事業 ※区役所費による事業

「第20回たまたま子育てまつり」 9/18(日) 9:45～15:00 会場:多摩市民館

主催:たまたま子育てまつり実行委員会

地域で子育てを支える環境づくりを目的とした子育てに関する企画やステージ・情報提供等

5 インターンシップ受け入れ

3大学連携事業(多摩区役所企画課所管)として8/31～9/2 日本女子大学受け入れ予定

V 現代的課題対応学習事業

1 現代的課題学習事業

現代的、今日的な課題に係わる学習機会を提供し、今を生きる市民の学習を支援する。

「手作りみつろうラップ作りとSDGsな生活」 1/29(日)10:00～12:00 全1回

定員 25人 会場:多摩市民館 実習室

VI 学習環境整備事業

1 広報・刊行活動

多摩市民館だより 年6回(5/1、7/1、9/1、12/1、2/1、3/31)

8,000部作成、多摩区内小学校(7月号まで)、各町内会・自治会回覧(9月号から)及び各公共施設にて配布

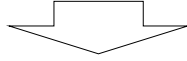
2 情報機器等整備貸出活動

川崎市視聴覚ライブラリーと連携し視聴覚教材を利用した学習ができるよう視聴覚機器及び教材を貸出する。(市民館ホームページ、学習相談・学習情報提供等により広報)

多摩市民館専門部会 令和4・5年度のテーマについて

○ これまでの調査・研究報告書と第1回会議での主な意見

- ・前期、前々期の調査・研究報告書で「市民館と地域の連携」というテーマで検討

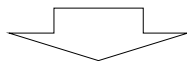


「これまで市民館を利用してこなかった人や、距離や交通手段等の事情により市民館を利用しづらい人も多いと思われることから、こども文化センター、老人いこいの家、学校開放施設などに市民館が出向き、(中略)事業や講座等を展開していくことが望まれる。」(令和2・3年度報告書P3)

- ・市民館が多摩区に一つなので、生田出張所やこども文化センターの方が近い。一方、市民館に来ることで、普段と違うほかの地域の人たちとの交流が生まれることもある。

○ 市民館の役割

- ・ 社会関係資本を充実させる施策の実施
- ・ 様々な分野における社会参加の機会の創設
- ・ 多くの区民にいきわたる広報ツールへの取り組み
- ・ 地域人材の育成と共に支え合う地域社会の構築

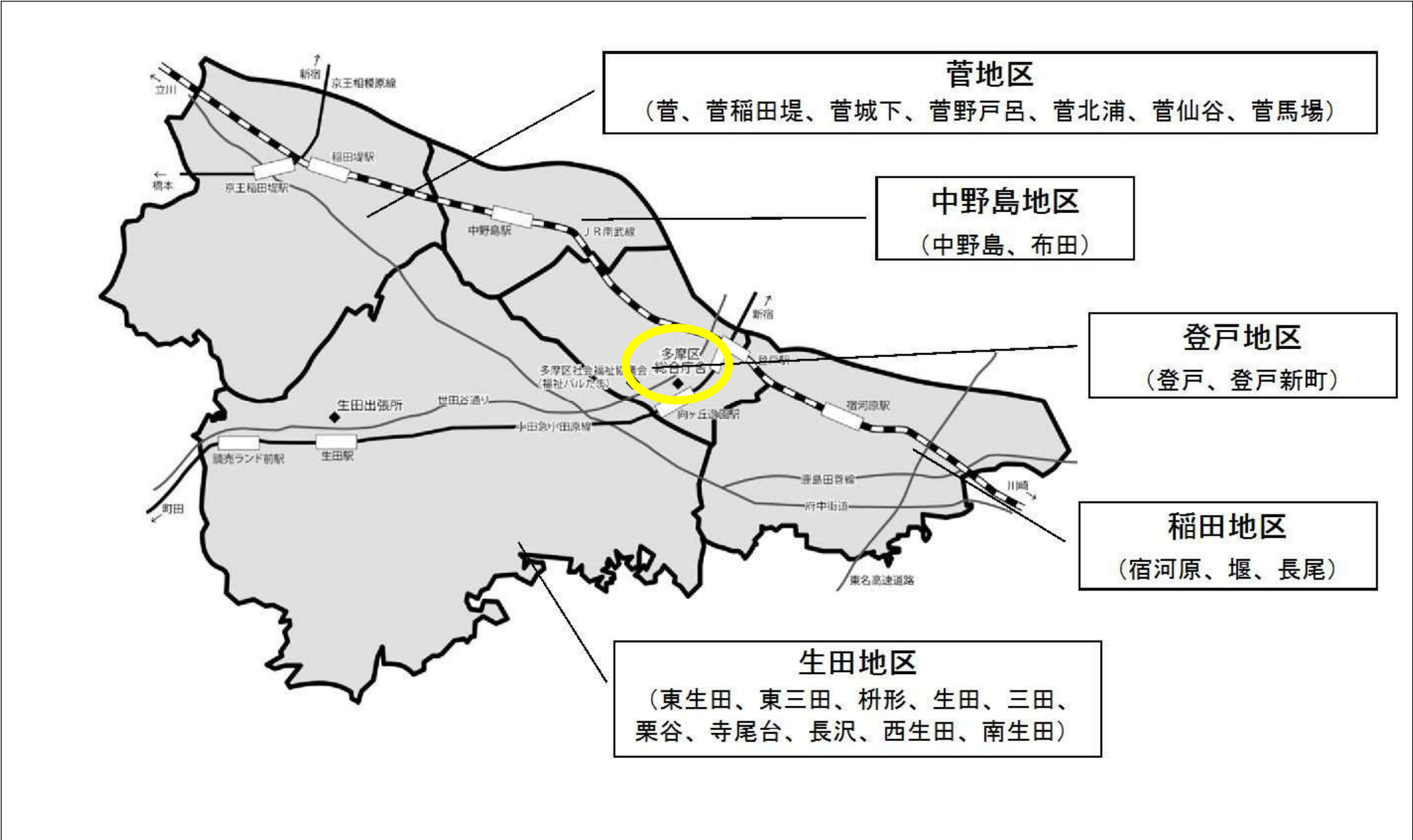


『学び』を社会のいたるところで多く展開し、豊かな地域づくりを支援し、「社会教育を通じ『人づくり』、『つながりづくり』、持続可能な『地域づくり』といったまちづくり施策の推進役としての機能が求められています。」(「市民館・図書館の管理・運営の考え方」P4)

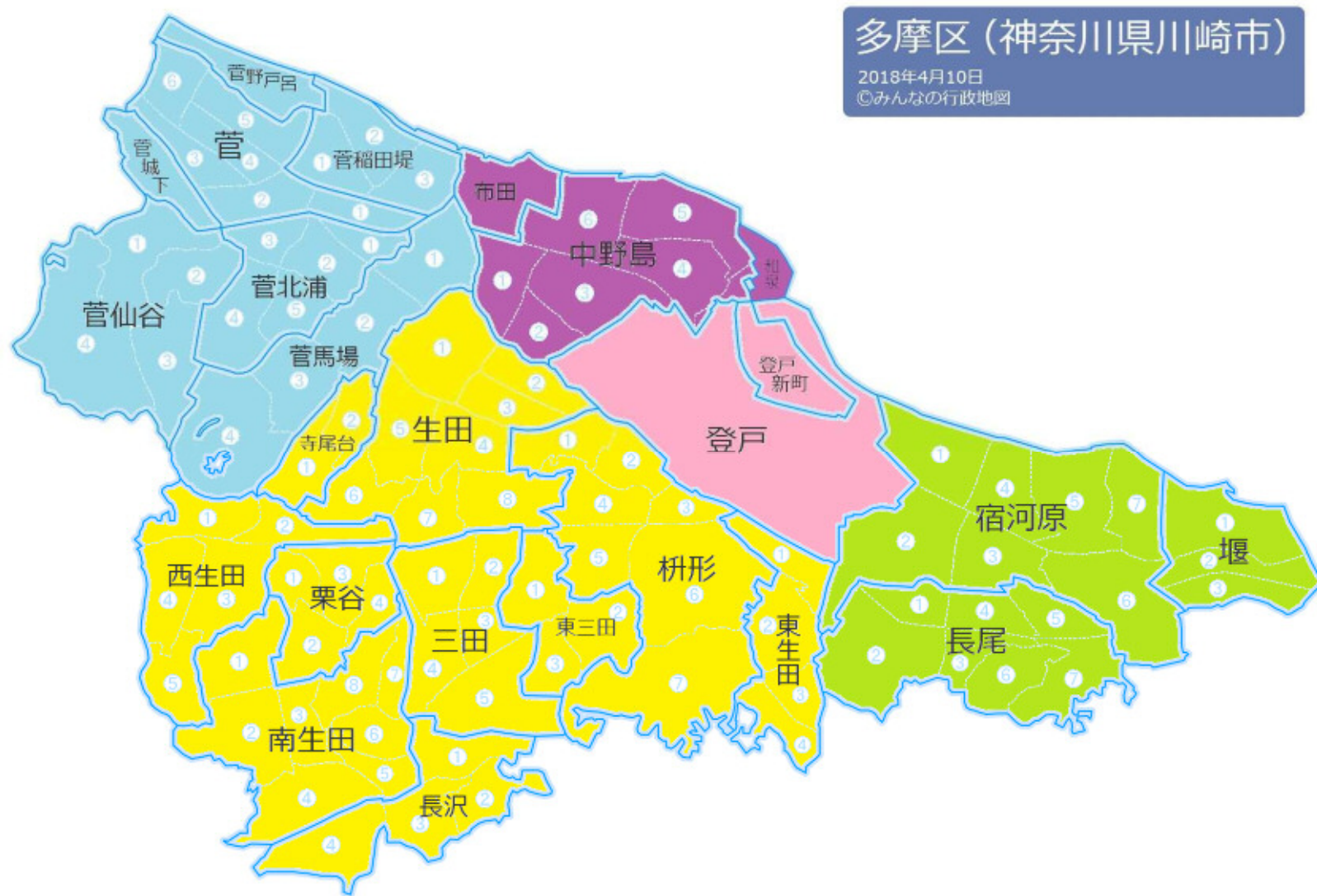
○ 多摩区内での地域づくりの取組

多摩区役所では、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるように、次ページのとおり、多摩区の地域包括ケアシステムの地区割り＝地区社協の区域ごとに、地域でのつながりや支え合いの仕組みづくりを推進

地区社協の区域（5地区）＝多摩区の地域包括ケアシステム地区割り

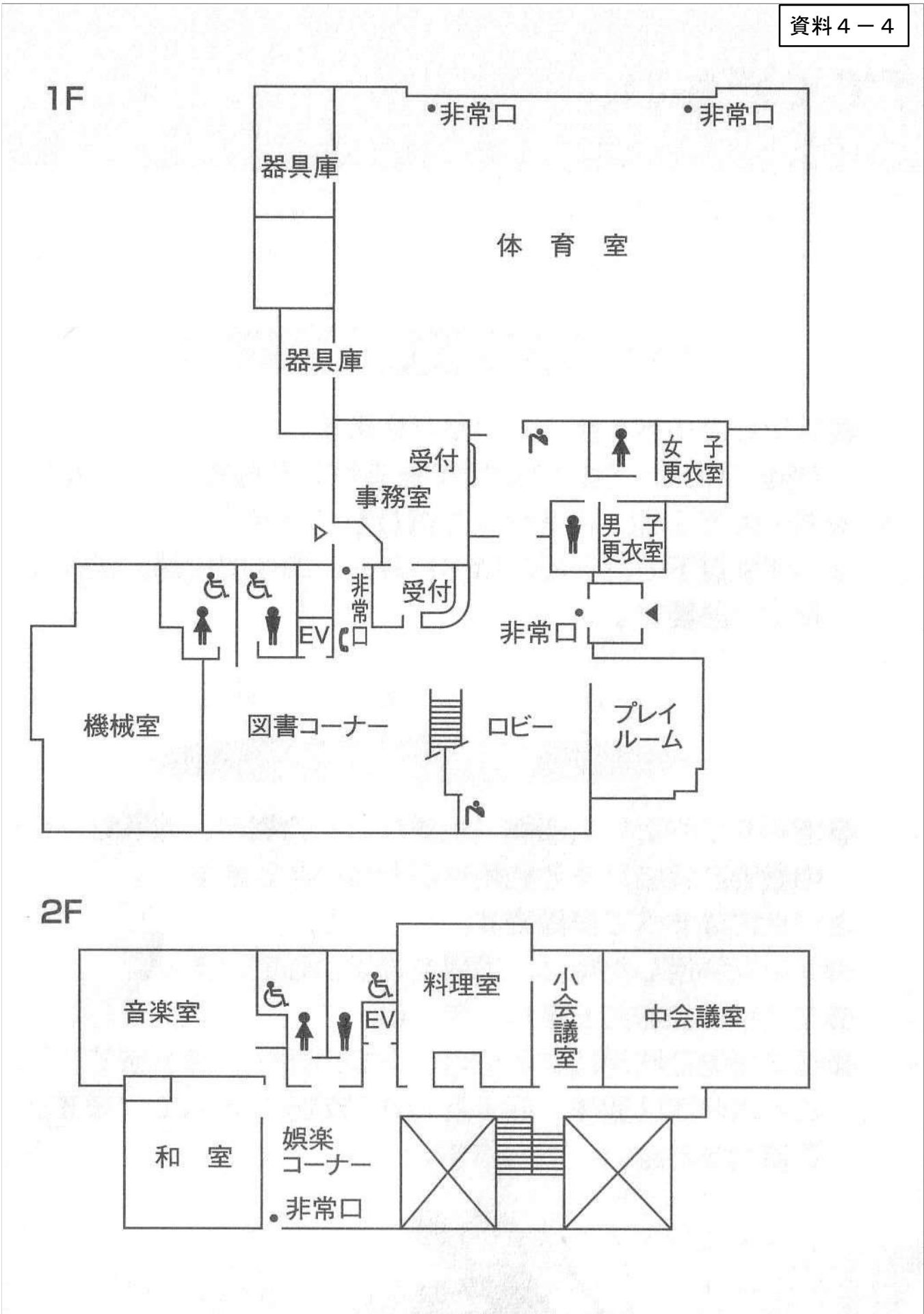


地区社協の区域（5地区）＝多摩区の地域包括ケアシステム地区割り



美しが丘西地区センター拡大図

資料 4 - 4



閉じる

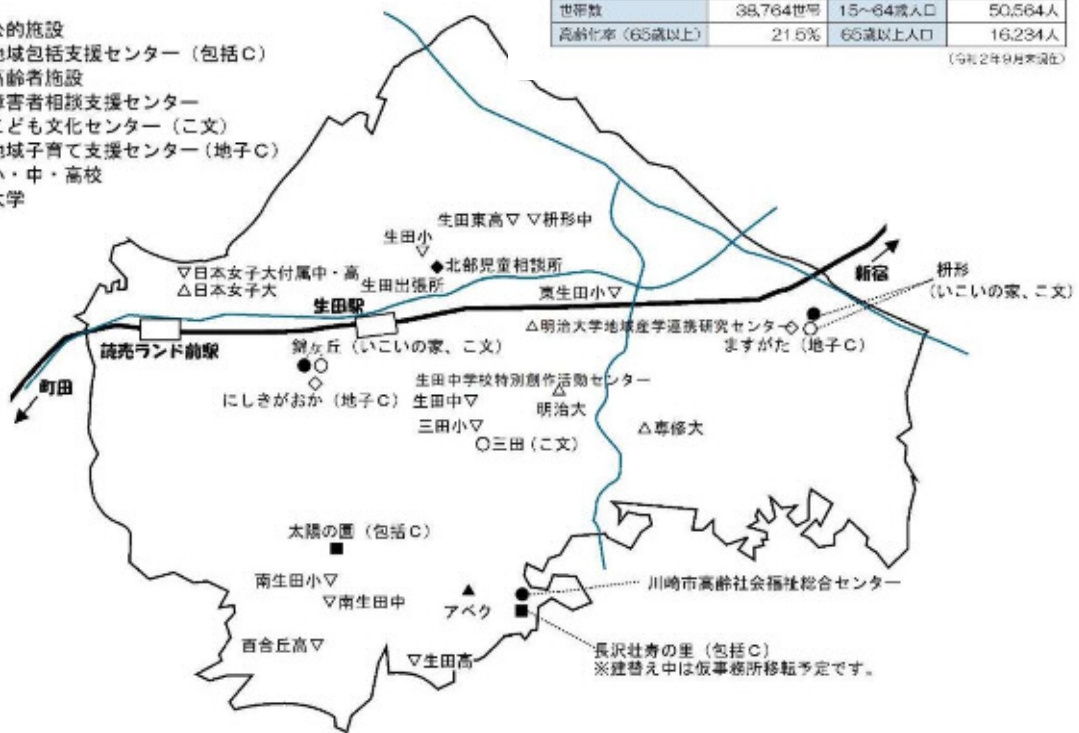
例として、生田地区

- ◆ 公的施設
- 地域包括支援センター（包括C）
- 高齢者施設
- ▲ 障害者相談支援センター
- こども文化センター（こ文）
- ◇ 地域子育て支援センター（地子C）
- ▽ 小・中・高校
- △ 大学

■ 地区データ

人口	75,482人	0～14歳人口	8,684人
世帯数	38,764世帯	15～64歳人口	50,564人
高齢化率（65歳以上）	21.6%	65歳以上人口	16,234人

（令和2年9月末現在）



菅地区

■ 地区データ

人口	43,950人	0～14歳人口	4,964人
世帯数	21,896世帯	15～64歳人口	30,419人
高齢化率（65歳以上）	19.5%	65歳以上人口	8,567人

（令和2年9月末現在）



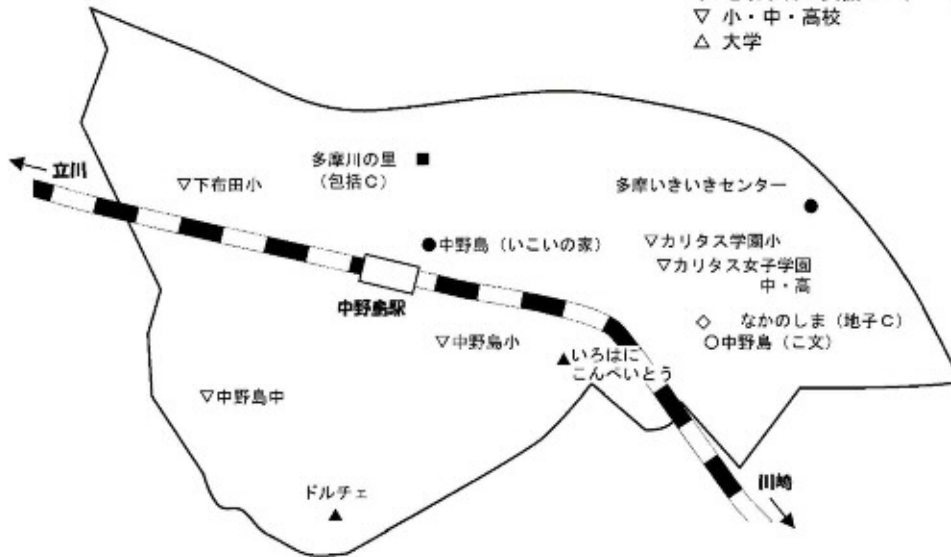
中野島地区

■ 地区データ

人口	23,257人	0~14歳人口	2,462人
世帯数	11,780世帯	15~64歳人口	15,545人
高齢化率(65歳以上)	22.6%	65歳以上人口	5,250人

(令和2年9月末現在)

- ◆ 公的施設
- 地域包括支援センター(包括C)
- 高齢者施設
- ▲ 障害者相談支援センター
- こども文化センター(こ文)
- ◇ 地域子育て支援センター(地子C)
- ▽ 小・中・高校
- △ 大学



稲田地区

■ 地区データ

人口	42,457人	0~14歳人口	4,892人
世帯数	22,159世帯	15~64歳人口	29,342人
高齢化率(65歳以上)	19.4%	65歳以上人口	8,223人

(令和2年9月末現在)

